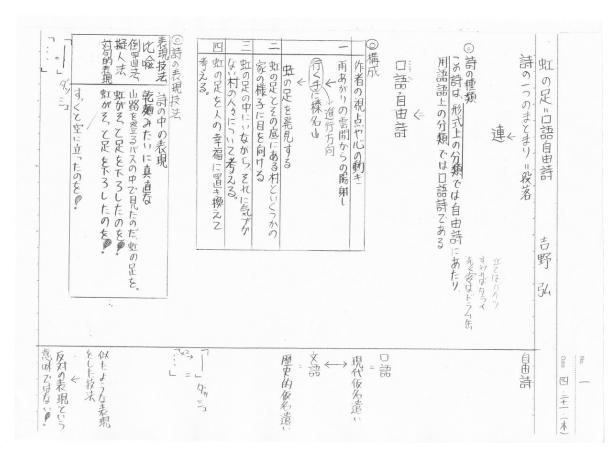
## 「書く能力」の向上を図るノートや補助教材の工夫

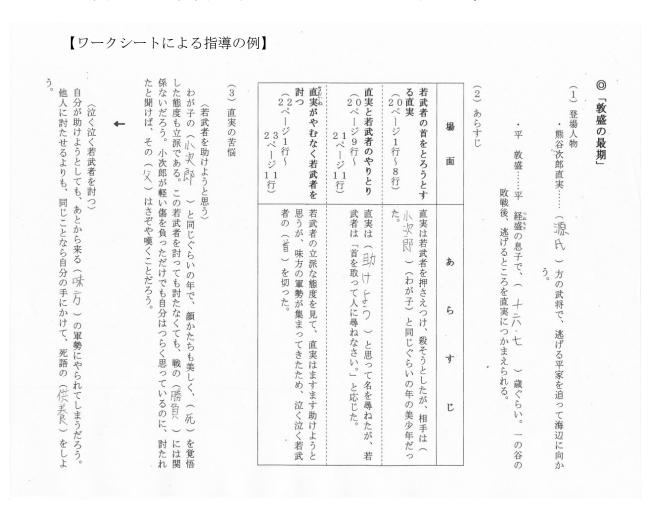
【蓮田市教育委員会】

- 1 学校、学年、教科 中学校、第2学年、国語科
- 2 ねらい 「書く能力」の向上 (文章の構成を工夫し、自分の考えをわかりやすく記述できるようにする。)
- 3 具体的な工夫・改善
  - (1)過年度の「埼玉県学習状況調査」の問題演習や類似問題に取り組ませた。
  - (2)授業で教科書を判読する際に、赤ペンなどの筆記用具を必ず持たせ、キーワードとなる 語句や一文を強調して読むことで、重要な部分をチェックする習慣をつけさせた。
  - (3)授業で使用するノートの下から5cmくらいの所に線を引かせ、板書したことを写させるだけでなく、関連することを指導者が口述したり、自身の疑問や意見をメモできるようにした。

## 【ノート指導の例】



- (4)文学的文章や説明的文章の単元で、200字や300字の原稿用紙に自分の思いや考えを書かせるようにした。
- (5)ワークシートを用意して、文学的文章は時間、場所、場面、登場人物についての行動や キーワードとなるセリフを記入させ、説明的文章は、序論、本論、結論の順に、話題の 提示、根拠の提示、筆者の考えや主張などをまとめるようにした。



## 4 取組の成果

- (1) 過年度の「埼玉県学習状況調査」の問題演習や類似問題に取り組ませることで、問題を解くコツを身につける生徒は増えた。
- (2)キーワードとなる語句や要点、話し手や著者の意図などをメモに書き出すことができるようになった。
- (3)スピーチや作文の際、テーマに沿って段落ごとのメモを作成するようになった。
- (4)各単元で、範読もしくは音声CD再生後に、自分の思いや考えを短作文で表現できるようになった。